

VIII 海外技術協力派遣報告

XIII 海外協力報告

メキシコ合衆国での個人暴露に関するセミナーと パッシブサンプラーによる大気質の測定技術指導

斉藤 勝美

1. はじめに

メキシコ合衆国については、日本政府の支援による大気汚染や有害廃棄物などに関する調査・研究および研修を行うための「メキシコ環境研究研修センター」がメキシコ市の国立メトロポリタン自治大学イスタパラバ校キャンパス内に建設されており、現在環境研究研修センターでは環境に関する調査・研究および研修が精力的に行われている。

私は、環境庁の要請により国際協力事業団(JICA)の専門家として、環境研究研修センターから要望のあった個人暴露に関するセミナーでの講演とパッシブサンプラーによる大気質の測定技術指導を、平成10年7月6日から17日の約2週間行った。

2. 活動状況

メキシコ合衆国でのスケジュールについては、環境研究研修センター訪問の初日に、環境研究研修センターから提案があり、JICAのプロジェクトリーダー、調整員、大気専門家と環境研究研修センター所長、副所長、カウンターパートとともに詳細な検討を行い表1のようになった。なお、14日のセミナーはメキシコ合衆国環境庁のフェルナンデス情報政策局長の要望により行ったもので、原子力研究所への訪問は岩手医科大学サイクロトロンセンターの世良助教の紹介によって実現したものである。

3. セミナー

個人暴露に関するセミナーは、JICAとメキシコ合衆国環境庁との共同主催で、9日午前9時30分から午後2時30分までの5時間にわたって行われた。会場はメキシコ合衆国環境庁の講堂で、講演者は私を含めて4人（他の講演者はメキシコ合衆国環境庁情報政策局長補佐、環境研究研修センター大気担当副所長、大気課長）である。参加者は、メキシコ合衆国内の研究機関、大学関係者など77名であった。セミナーは、講演者がそれぞれ約40分間の講演後、公開討論が1時間の予定で設けられていたが、公開討論会では活発な議論が行われ2時間にも及んだ。

なお、私の講演は、「パッシブサンプラーを用いての環境調査を中心に」である。

14日のセミナーは、環境研究研修センターのセミナー室で、午後4時から2時間の予定で行った。参加者は、メキシコ合衆国環境庁および環境研究研修センターの職員など約40名である。セミナーの内容は、大気中の有害揮発性大気汚染物質の分析と大気中浮遊粉じんのPIXE法による元素分析についてである。

4. パッシブサンプラーによる大気質測定の 技術指導

パッシブサンプラーによる大気質測定の技術指導は、サンプリング技術については13日、分析については15日、またサンプリングおよび分析技術の評価と測定データの検討については16日に行った。パッシブサンプラーによる大気質測定の技術指導は、当初 NO_x と O_3 について行う予定であったが、 O_3 を分析するためのイオンクロマトグラフィーが分析可能状態でなかったことから、研修は NO_x のみとなった。

5. おわりに

今回のパッシブサンプラーによる大気質測定の技術指導は、実質的には3日間しかとれず、一通りやってみせたという程度で、十分な指導はできなかった。これについては、最終日の反省会で、長期間とは云わないが、せめて2~3ヶ月の指導はしてほしい、あまりにも期間が短いとの要望がだされた。確かに、カウンターパートへの技術移転となると、フィールドでの調査も含めて数カ月を要すると思われるが、数カ月間にわたる海外での技術指導となると、現実問題として業務との兼ね合いも含め、組織内での十分な理解などが必要であると考えられる。なお、海外での技術協力では、国際感覚が身に付くばかりでなく、技術指導される側から得られる知識、技術の再確認など今後業務を行う上で多くのものを得ることができると考えられる。

最後に、海外協力によって多くのものを得る機会

を与えて頂いた当センターの所長および職員と環境 保全課長および職員に感謝します。

表1 メキシコ合衆国でのスケジュール

日 時	内 容
7月6日(月)	環境研究研修センターとの打ち合わせ
7日(火)	厚生省と共同の個人暴露調査(フィールド調査)の視察
8日(水)	個人暴露に関するセミナーの準備
9日(木)	個人暴露に関するセミナー
10日(金)	学童を対象とした個人暴露調査(フィールド調査)と炭化水素に関する調査の視察
13日(月)	パッシブサンプラーによる大気質測定 of 技術指導(サンプリング技術)
14日(火)	原子力研究所訪問, セミナー
15日(水)	パッシブサンプラーによる大気質測定 of 技術指導(分析技術)
16日(木)	パッシブサンプラーによる大気質測定 of 技術指導(技術評価と測定データの検討)
17日(金)	反省会



図1 個人暴露に関するセミナーの様子